

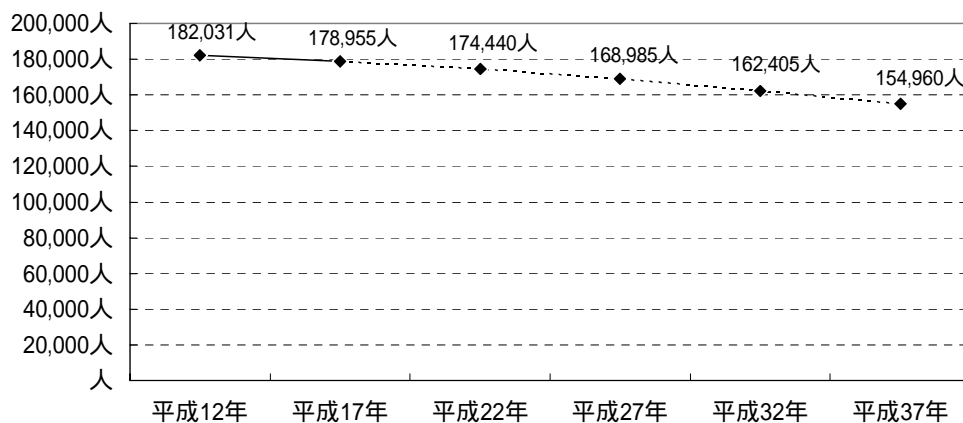
## 第 8 章 主要指標の見通し

### 1. 将来人口の見通し

本市の人口は今後も減少傾向が続くことが予想され、平成 33 年には、約 161,000 人になる見通しです。

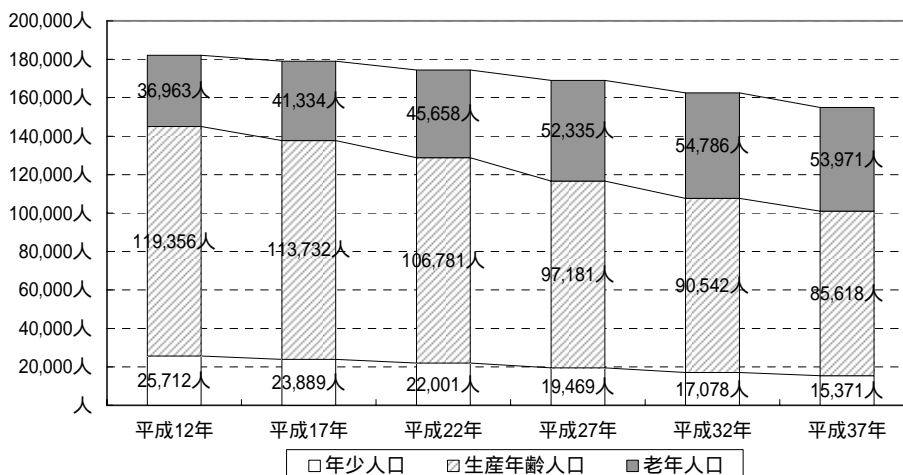
年齢構成は、現在は年少人口（15 歳未満）と生産年齢人口（15 歳以上 65 歳未満）が減少傾向にあり、老年人口（65 歳以上）が増加傾向にあります。平成 32 年以降は老年人口も減少に転ずる見通しです。

本市の将来人口



(国立社会保障・人口問題研究所)

本市年齢 3 区分の将来人口

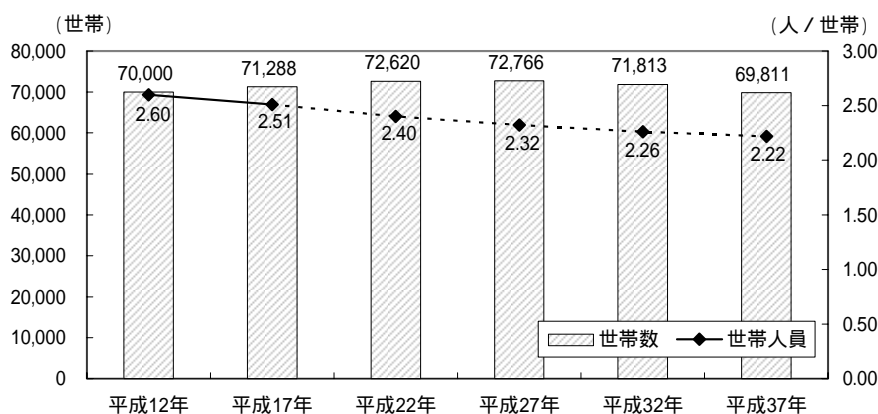


(国立社会保障・人口問題研究所)

## 2. 将来世帯数の見通し

本市の世帯数は増加傾向にありますますが、平成 27 年以降、減少に転じることが予想され、平成 33 年には、約 72,000 世帯になる見通しです。世帯規模は、核家族化の進行により、さらに縮小していく見通しです。

本市の将来世帯数



## 3. 将来就業人口の見通し

本市の就業人口は、現在は第 1 次産業就業者数と第 2 次産業就業者数が減少傾向にあり、第 3 次産業就業者数が増加傾向にありますが、平成 22 年以降は第 3 次産業就業者数も減少に転ずる見通しです。平成 33 年には、第 1 次産業就業者数が約 1,500 人、第 2 次産業就業者数が約 16,000 人、第 3 次産業就業者数が約 52,000 人になる見通しです。

本市の将来就業人口

